

ほたる

ゲンジボタル

にじ組さんの
大発見♡♡♡
ムカシヤンマを
見つけたよ！



幼虫

ゲンジボタルの成虫

カワニナ

にじ組さんが家の近くでムカシヤンマを見つけました。大人の人でも知っている人は、ほとんどいません。準絶滅危惧種のトンボです。このような珍しいトンボが岩倉には、まだ生きています。



園で見つけた俳句

「イチゴの実 何が食べた
か？ 捜査中」
今年も ○○ かな？



園の6月の花 ザクロの花 緑のつやつやした葉っぱの中にオレンジ色の花が美しい 2022年5月16日

岩倉川で見られるホタルは、ゲンジボタルです。幼虫は、流れる水の中で暮らし、カワニナ（貝）を食べます。成虫は羽化後水分だけで一週間生きます。観光地のホタルではないので数は少ないですが、家族連れで見ることができる貴重なホタルです。毎年6月5日～20日に目無橋から岩倉橋の間で見られます。道は狭いので、車はパーキングに停めて安全に気をつけて見物してください。岩倉川にホタルがいるのは、カワニナが豊富にいること、川岸に土がたまり幼虫がサナギになることができるからです。地元のボランティア団体「岩倉川を守る会」が月に一度川のゴミ掃除をして良い環境を維持していることも大きいです。ホタルは、卵も幼虫もサナギも光ります。童謡「ほたるこい」は、名曲です。おすすめの写真絵本は、「ホタル 栗林慧 リブリオ出版」です。この本は、岩倉図書館にあります。ムカシヤンマは、古代の特徴を残したトンボです。京都府でも生息地は限られています。このようなトンボを自分で見つけて園に持って来たこの子は、とてもすばらしいです。園の取り組みの成果が現れて来ています。

明德幼稚園や公園で見つけた自然通信

2022年5・6月号 岩倉自然学習ボランティア 村上 幹夫

